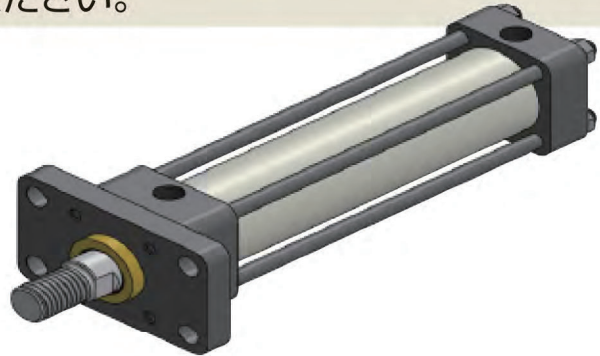


メンテナンスの基礎 パッキン交換手順(その1)

油圧シリンダのパッキン交換手順を4回に分けてご紹介いたします。
メンテナンス時にぜひお役立てください。

■ 油圧シリンダ (FA形)

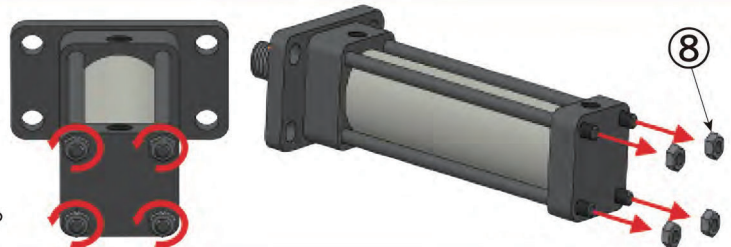
分解前に十分作動油を抜き取り、作動油が飛散しても良い場所で分解を行ってください。
また、分解する際はオイルパンやウエスなどを用意して行ってください。



■ 分解要領

1

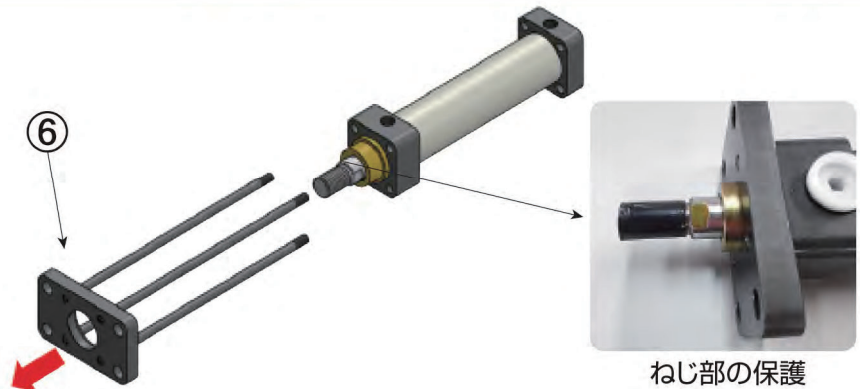
シリンダ本体を固定し、品番⑧六角ナットを緩み方向(半時計回り)に回転させ六角ナットを緩めて、取り外してください。



2

品番⑥フランジをタイロッドが付いた状態で抜き取ってください。

※抜き取る前に注1)・注2)の施工を行ってください。



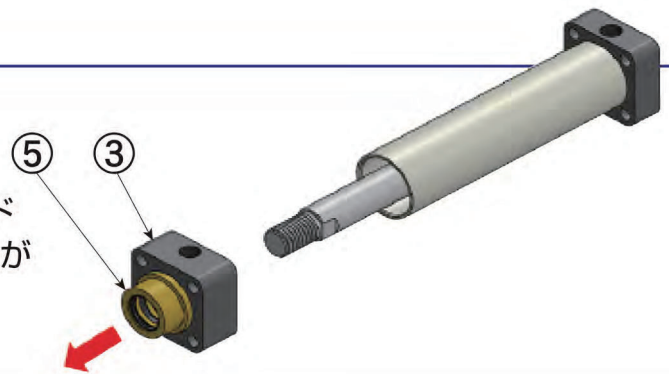
注1) ネジ部を保護する為、ネジ部にビニールテープなどを巻き付けてください。

注2) 二面巾部やロッド外周部には傷や打痕傷がついている場合がありますので、サンドペーパー等で、補修してください。また、凸が大きい場合、リューターやベルトサンダーにてならしてください。



3

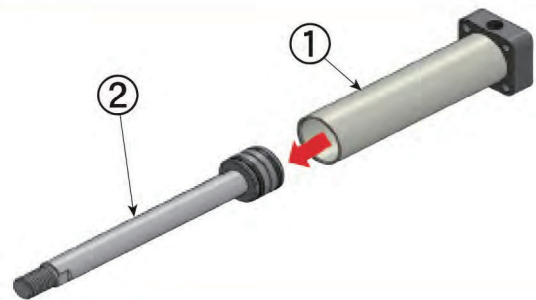
品番③ロッドカバーを取り外す際、ピストンロッド外周部が傷つかない様に、品番⑤ロッドブッシュが取り付けいた状態で取り外してください。



4

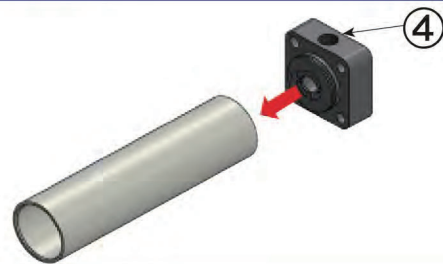
品番②ピストンロッドAssyを水平に動かし、品番①シリンダチューブから、抜き取ってをください。

※ピストンロッドとピストンは取り外せません。
※シリンダチューブ内面に傷つかない様注意してください。



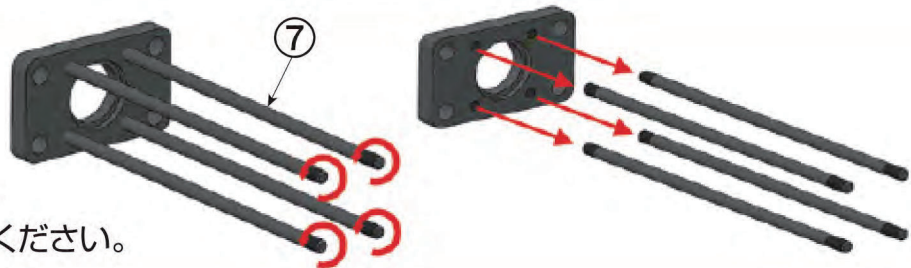
5

シリンダチューブを品番④ヘッドカバーから取り外してください。



6

品番⑦タイロッドを緩めフランジから取り外してください。

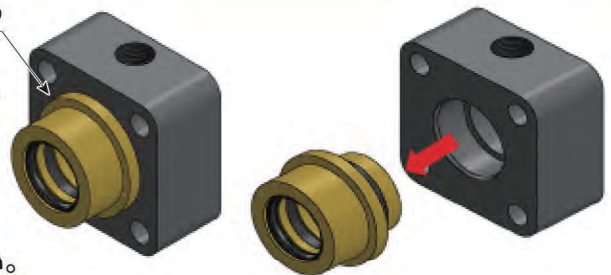


7

ロッドカバーよりロッドブッシュを取り外してください。

※ロッドカバーとロッドブッシュの間に少し隙間を空け、その隙間にマイナスドライバーを差し込んで抜き出してください。
その際、ドライバーで傷をつけないようにしてください。

隙間を空ける



メンテナンスの基礎 パッキン交換手順(その2)

① パッキンガスケット取り外し時の注意

パッキンやガスケットの交換時、作動油が飛散しても良い場所で行って下さい。
また、パッキンやガスケットが取り付けられているパーツは重量物であるので、落下や指詰めにご注意して作業を行って下さい。
尚、パッキンやガスケットが装着されている溝の底面や側面は作動油をシールするために重要な箇所となりますので、傷が付かない様注意して下さい。

② シリンダガスケットの取り外し



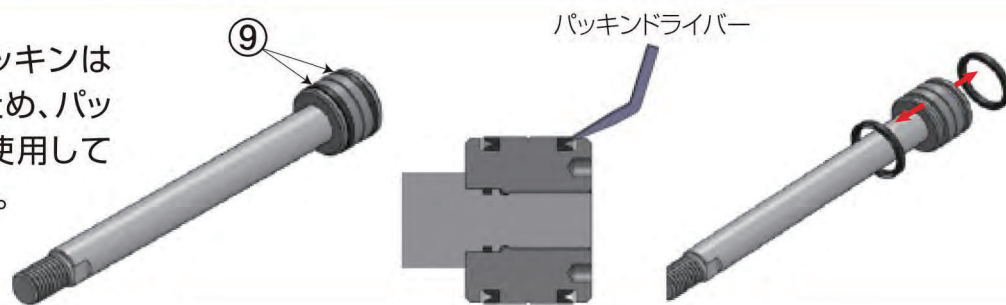
品番⑫シリンダガスケット(Oリング)を絞るように押し出し、溝から取り外して下さい。(上写真参照)

③ ロッドブッシュ部の取り外し

ブッシュガスケットの取り外し	ダストパッキンの取り外し	ロッドパッキンの取り外し
 <p>品番⑤ロッドブッシュから、シリンダガスケットと同じ要領で品番⑬ブッシュガスケット(Oリング)を取り外して下さい。</p>	 <p>品番⑪ダストパッキンのリップ部を引って取り外して下さい。</p>	 <p>品番⑩ロッドパッキンは取り外しが困難なため、パッキンドライバーを使用して取り外して下さい。</p>

④ ピストンパッキンの取り外し

品番⑨ピストンパッキンは取り外しが困難なため、パッキンドライバーを使用して取り外してください。



パッキンドライバーの製作

ドライバーの先端部は必ず丸みを付けて傷がつきにくい様にして下さい。



■ パーツリスト

No.	部品名	形状	数量	No.	部品名	形状	数量	No.	部品名	形状	数量
1	シリンダチューブ		1	6	フランジ		1	11	ダストパッキン		1
2	ピストンロッド		1	7	タイロッド		4	12	シリンダガスケット (O-Ring)		2
3	ロッドカバー		1	8	六角ナット		4	13	プッシュガスケット (O-Ring)		1
4	ヘッドカバー		1	9	ピストンパッキン		2				
5	ロッドブッシュ		1	10	ロッドパッキン		1				

メンテナンスの基礎

パッキン交換手順(その3)

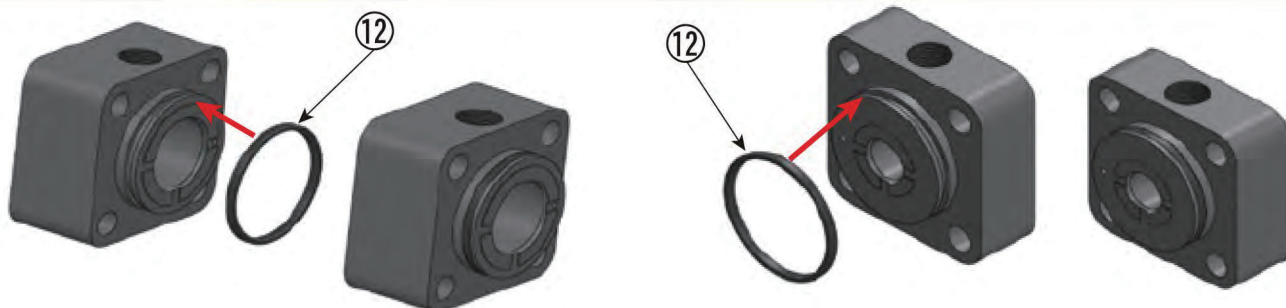
1 パッキン・ガスケット取り付け時の注意

パッキンやガスケットの交換時、ゴミなどが付かないように交換場所に注意して作業を行って下さい。また、パッキンやガスケットに傷やへこみ跡が付かないよう、爪やエッジのあるもので押さえつけないようにして下さい。

パッキンやガスケットが取り付けられているパーツは重量物ですので、落下や指詰めに注意して作業を行って下さい。

パッキンやガスケットが装着されている溝の底面や側面は作動油をシールするために重要な箇所となりますので、傷が付かないように注意して下さい。

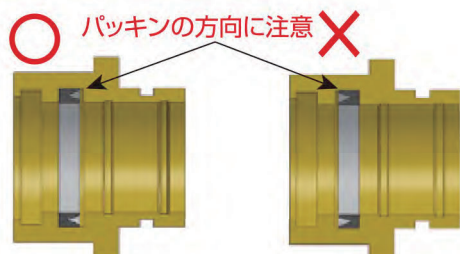
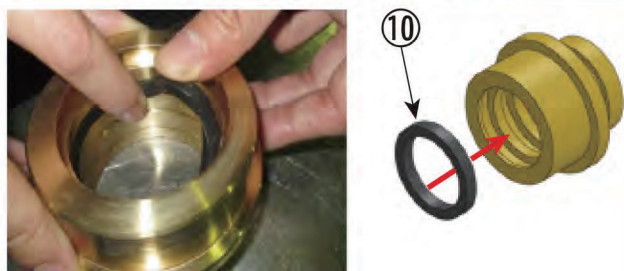
2 ロッドカバーおよびヘッドカバー部のガスケットの取り付け



品番⑫シリンダガスケット(Oリング)は、Oリング装着溝に一部分を引っ掛け、Oリングを伸ばしながら、溝に装着して下さい。装着されたOリングが捻じれていないかを確認して下さい。

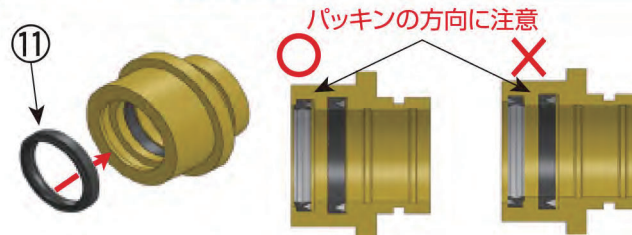
3 ロッドブッシュ部のパッキンの取り付け

ロッドパッキンの取り付け



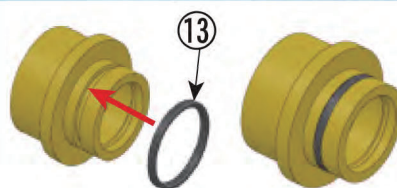
品番⑩ロッドパッキンの装着時、上写真のようにパッキンを指で押して溝にはめ込んで下さい。パッキンの装着方向に注意して下さい。

ダストパッキンの取り付け



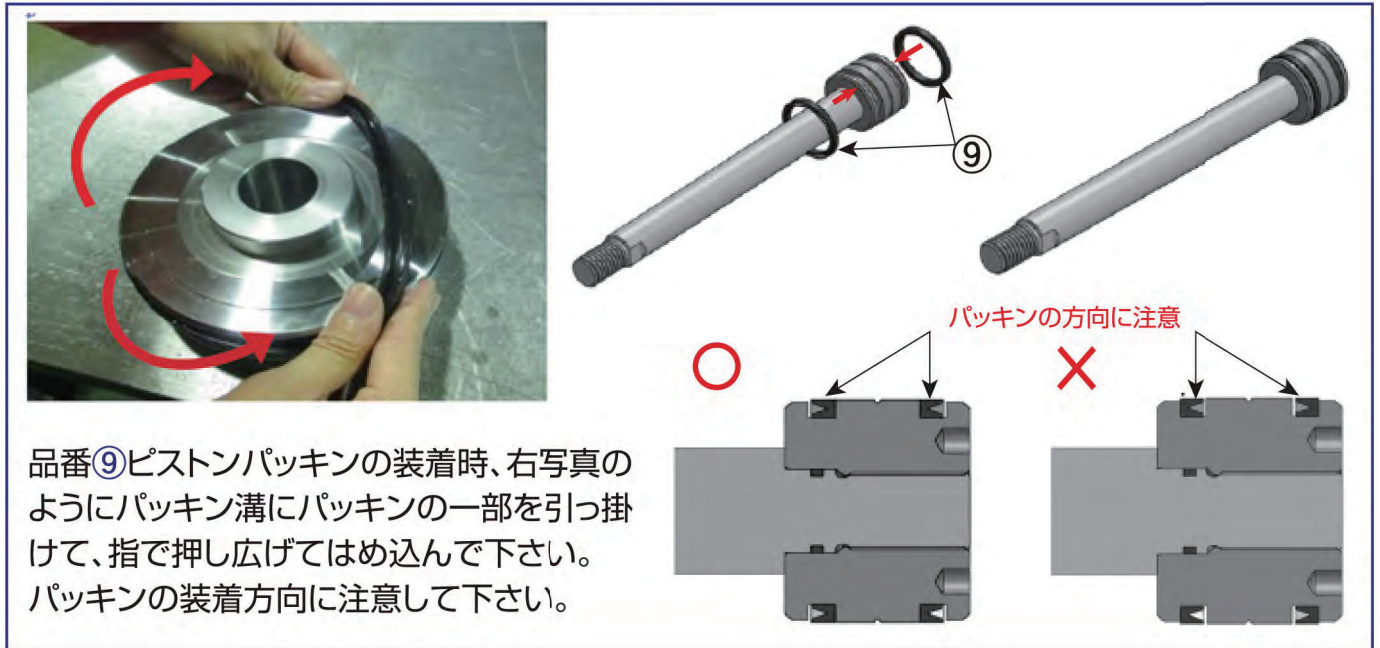
品番⑪ダストパッキンの装着時、ロッドパッキンと同じ要領で溝にはめ込んで下さい。パッキンの装着方向に注意して下さい。

ブッシュガスケットの取り付け



品番⑬ブッシュガスケット(Oリング)をシリンダガスケットと同じ要領で組み付けて下さい。装着されたOリングが捻じれていないかを確認して下さい。

4 ピストン部のパッキンの取り付け



■ パーツリスト

No.	部品名	形状	数量	No.	部品名	形状	数量	No.	部品名	形状	数量
1	シリンダチューブ		1	6	フランジ		1	11	ダストパッキン		1
2	ピストンロッド Assy		1	7	タイロッド		4	12	シリンダガスケット (O-Ring)		2
3	ロッドカバー		1	8	六角ナット		4	13	プッシュガスケット (O-Ring)		1
4	ヘッドカバー		1	9	ピストンパッキン		2				
5	ロッドブッシュ		1	10	ロッドパッキン		1				